

こどもの自殺対策に関する関係省庁連絡会議（第3回）
議事概要

日時 令和5年5月26日（金）11:00～12:00
場所 こども家庭庁庁議室
出席者 ※ [] は代理出席者
議長 内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画）
副議長 こども家庭庁支援局長
構成員 内閣官房孤独・孤立対策担当室長
同 警察庁生活安全局長 [生活安全企画官]
同 こども家庭庁成育局長 [成育局総務課長]
同 消防庁次長 [審議官]
同 法務省人権擁護局長
同 文部科学省初等中等教育局長 [文部科学戦略官]
同 厚生労働省社会・援護局長
ヒアリング対応者 東京大学大学院教育学研究科特任助教 一般社団法人
RAMPS 代表理事 北川裕子
NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表 山口和浩

（議事次第）

1. 小倉大臣挨拶
2. 有識者等からのヒアリング

（配布資料）

- 資料1 東京大学大学院教育学研究科特任助教 一般社団法人 RAMPS 代表理事
北川裕子氏 提出資料
- 資料2 NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表 山口和浩氏 提出資料

（議事概要）

- 開会にあたり、小倉大臣より以下のとおり挨拶があった。
- 本日は、前回に引き続き、関係省庁の皆様とともに、有識者の皆様からご意見をいただく機会を設けさせていただきました。
- 先日申し上げたとおり、本会議では、骨太の方針も見据え、6月までにこどもの自殺対策の強化に関する施策をとりまとめたいと考えています。
- しっかりと取り組んでまいりたいと考えておりますので、本日は忌憚のないご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。
- 東京大学大学院教育学研究科特任助教 一般社団法人 RAMPS 代表理事 北川裕子氏、NPO 法人自死遺族支援ネットワーク Re 代表 山口和浩氏より、こどもの自殺対策に関するご意見について説明があった。

○最後に、小倉大臣から以下のとおり挨拶があった。

本日は、こどもの自殺対策について、お集まりいただいた皆様からそれぞれ有意義なご意見を頂戴いたしました。

デジタルツールを使用したスクリーニングの重要性についてご意見いただきました。また、遺されたこどもを意識した対策についてもご意見をいただきました。

希死念慮を抱くことは本人の責任ではありません。社会全体で受け止め、支えていくというメッセージを発信していきたいと思っております。

今回のご意見を受け止め、関係省庁が連携して、こどもの自殺対策の強化に向け、さらに検討を進めていただければと思います。

今後も、政府一丸となって取り組んでまいりたいと考えていますので、引き続き、ご協力よろしく願いいたします。

(以上)